

主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 8

神の建造のために、キリストを神の家におけるあらゆるものとして経験する

聖書：ゼカリヤ 1:18-21. 4:12-14. 6:12-13. 10:1, 3, 8, 12. 14:9

- I. ゼカリヤ書が示していることは、神の動きの中心性と普遍性であり、また地上における神のエコノミーを成就するキリストが、人類歴史と、また大いなる人の帝国と、特にペルシャ(第1-6章)とギリシャとローマ(第7-14章)の帝国と、密接な関係があるということです。
- A. 神聖な歴史と人類歴史の焦点は、キリストの二回の到来であり、それはイエスの証し、神の建造のためです——4:2-3. 6:12-13：
1. ゼカリヤ書が第一回の到来におけるキリストに関して預言したのは、勝ち誇ってエルサレムに入ったへりくだった王としてであり(9:9)、銀三十枚で裏切られた方としてであり(11:12-13)、打たれた牧者としてであり(13:7. 11:7-11)、十字架上で突き刺された方としてです(12:10. 13:6)。
 2. ゼカリヤ書が第二回の到来におけるキリストに関して預言したのは、突き刺した者たちによって見られるメシアとしてであり(12:10)、オリブの山に戻ってきて、エルサレムを包囲する諸国民と戦う方としてであり(14:3-5)、千年期における全地の王としてです(9節)。
- B. ゼカリヤ書第1章18節から21節における最後の職人としてのキリストは、打ち砕く石です。彼は、ダニエル書第2章31節から33節にある大きな人の像の四つの部分によって表徴される、人の統治の総合計を打ち砕きます——参照、ヨエル 1:4. ダニエル 7:3-8, 12：
1. 打ち砕く石は、団体のキリスト、キリストと彼の勝利者たちです。彼らは、この時代を終わらせるための彼の経綸上の手段です——ヨエル 3:11. ゼカリヤ 14:5. 啓 12:1-2, 5。
 2. 団体のキリスト、すなわち、キリストと彼の勝利を得た花嫁は、人の統治の集大成を打ち砕くためにやって来た後、大きな山となって、全地に満ち、全地を神の王国とします。
 3. このようにして、大きな人の像は、神の永遠の王国、すなわち、神のかたちをした団体のキリストをもって置き換えられます——ダニエル 2:34-35, 44-45。
- C. 世界情勢は常に、地上における主の動きの指標となっています：
1. 不法の奥義は今日、諸国民の間で、また人類社会の中で働いています。この不法は、不法の者、すなわち、反キリストにおいて頂点に達します——Ⅱテサロニケ 2:3-10：
- a. 反キリストは、サタン之力、サタンの具体化となります。彼は神の民を、すなわち、神を恐れるユダヤ人とキリストを信じるクリスチャンの両方を迫害し、滅ぼします——ダニエル 8:24. 啓 12:17. 13:7。
 - b. 反キリストは、神の宮と神の都を破壊し、荒廃させます。彼は真理を地に投げ

捨てます——ダニエル 9:27. 8:12。

c. 反キリストは、鋭い洞察力を持って物事を理解し、いと高き方に逆らう事を語ります——7:8, 20, 25。

d. 反キリストは、いと高き方の聖徒たちを疲れ切らせませす——25 節. 参照、マルコ 6:45-52。

e. サタンと反キリストは、終わりの時代における彼らの活動のために、人々の魂を道具とすることを欲します——啓 18:11-13. II テモテ 3:5. 参照、ゼカリヤ 12:1。

2. ダニエル書第 2 章の大きな像の十本の足の指によって予表される十人の王は、反キリストの下にいます。反キリストは、復興されたローマの帝国の最後の皇帝となります。このすべてがヨーロッパにおいて起こります——啓 17:10-14 :

a. 反キリストと人の統治の総合計が打ち砕かれることが起こる前に、主の回復はヨーロッパに広がり、そこに根付かなければなりません。

b. 米国、ヨーロッパ、極東は、現在の世界情勢の三つの影響力のある要因です。回復は米国と極東に根付きましたが、ヨーロッパには空洞があります。

c. ヨーロッパは、ダニエル書第 2 章の大きな人の像に関するビジョンの成就の究極的完成において、他のどんな国や民族よりも極めて重要です。大きな人の像の二本の足が打ち砕かれることは、人の統治全体が打ち砕かれることです。

d. 主の回復の真理が広がることは、主が再来して、回復と復興をイスラエルにだけでなく、全被造物にももたらすための備えとなります——マタイ 24:14. 参照、啓 5:6。

e. わたしたちは主に言うべきです、「主よ、今日の日は、時代の究極的完成です。主よ、今日の日に、あなたに対するわたしの愛を再び燃え立たせてください」。

II. ゼカリヤ書の負担は、一の立場であるエルサレムに戻ってきた人々を助けて、神の目的を見させることでした。神の目的とは、シオンの山に宮を建造して、地上における神の権益の中心と実際とすることでした :

A. 召会生活は今日のエルサレムです。召会生活の中には、今日のシオンである一群れの勝利者がいなければなりません——ゼカリヤ 8:2. 9:14-17. 参照、啓 14:1-5。

B. シオンは、聖なる都である召会の高嶺、中心、引き上げるもの、強めるもの、豊かにするもの、実際です。もし一地方召会の中に勝利者がいないなら、その召会はシオンのないエルサレムのようなものです。

C. 全時間訓練は勝利者を生み出すためにあります。わたしたちは勝利者になる決意をして、キリストに反する、あるいはキリストに置き換わるあらゆるものに打ち勝ち、彼に喜ばれる者になる誉れを得るという決心をしなければなりません——士 5:15.

II コリント 5:9。

III. 神の建造のために、キリストは成長して生み出す若枝、注入し建造する石、はぐくみ養う牧者です——I コリント 3:9, 12. ヘブル 13:20. エペソ 5:29 :

A. 「そして彼に語って、言いなさい、『万軍のエホバはこう語って、言われる、一人の人を見よ、その名は若枝である。彼は自分の所から芽を出し、エホバの宮を建造する。……彼は、彼の御座で祭司となる』」——ゼカリヤ 6:12-13 :

1. エホバの若枝は、キリストが受肉を通してエホバなる神の新しい発展となることを意味します。それは、三一の神が彼の神性においてご自身を人性の中へと枝を

出すためです——イザヤ 4:2. 7:14. マタイ 1:22-23 :

- a. それはまた神聖な命の豊かさ、新鮮さ、活力、成長、生み出す力を意味します。
 - b. キリストがわたしたちの中で成長するとき、わたしたちは神の増し加わりによって、命としての神の増加によって成長します——コロサイ 2:19。
2. キリストは大祭司また王ですから、彼は神の家を建造する方です——創 1:26. ゼカリヤ 6:12-12. ヘブル 8:1-2. 4:14-15 :
- a. キリストを生きることは、団体の祭司職の中を生きて、神の民のためにとりなし、神の表現のために彼らの中に神を供給することです—— 7:25-26. 8:1-2。
 - b. キリストを生きることは、神の金の行政の下で団体の王職の中を生き、彼の支配する臨在の天的な状況、状態、雰囲気を満たされ、十字架につけられて復活したキリストを享受することです——エゼキエル 1:26. 啓 22:1. 列王上 10:18。
- B. 「見よ、わたしは、わたしのしもべ、若枝をもたらしめているからだ。見よ、これは、わたしがヨシュアの前に置いた石である。その一つの石の上に、七つの目がある」——ゼカリヤ 3:8 後半-9 前半 :
1. 石の七つの目は、エホバの七つの目、小羊の七つの目、燭台の七つのともし火であり、それは神の七つの霊、七倍に強化された霊です—— 9 節. 4:10. 啓 5:6. 4:5。
 2. 七つの目は、キリストであるすべてをわたしたちの存在の中に注入するためです。それによってわたしたちは、神の建造のために彼と同じになります。恵みの生ける石、土台の石、隅の石、かしら石としての彼の注入を通して、わたしたちは神の建造のための生ける石となります——イザヤ 28:16. 詩 118:22. マタイ 21:42. I ペテロ 2:4-8. ゼカリヤ 3:9. 4:7。
 3. わたしたちは日々、代価を払って、金の燭台、すなわちイエスの証しのために、金の油としての七倍に強化された恵みの霊をさらに多く得る必要があります—— 6, 12-14 節. 12:10. エペソ 3:2. 啓 1:9。
- C. キリストは牧者としてやって来て、好意（恵み）と結合（拘束）の中で牧しました。恵みは、わたしたちが神とミングリングされるためであり、拘束は、わたしたちが縛られて一となるためです——ゼカリヤ 11:7. 2:1-2, 5, 8-9, 11. ヨハネ 21:15-17 :
1. 主がわたしたちにとってとても好意に満ちている時、わたしたちはさらに多くの好意、さらに多くの恵み、さらに多くの「雨」を送ってくださるよう彼に求めるべきです——ゼカリヤ 10:1. 12:10。
 2. 牧者としての主が訪れた後、神の民の間のすべての弱い羊は威厳ある軍馬となります—— 10:3。
 3. 朝ごとの復興の時、しばしば主はわたしたちに口笛を吹いて、わたしたちを彼のもとに呼び集めます。主の口笛は、けたたましいものではなく、穏やかで、優しく、鳥のさえずりのようなものです—— 8 節。
 4. 主はご自身の中でわたしたちを強めます。それは、わたしたちが彼の名にあって歩き回るためです—— 12 節. コロサイ 3:17。
 5. 「エホバは全地の王となられる。その日には、エホバはただひとり神であって、彼の御名もただ一つの名となる」——ゼカリヤ 14:9。